

【令和9（2027）年度日本大学商学部総合型選抜小論文事前課題】

独創的なビジネスモデルの構築は、収益拡大において極めて重要な要素です。しかし、顧客の満足と利益だけを追求したビジネスモデルは、時に新たな社会課題を誘発する恐れがあります。したがって、現代のビジネスにおいては、「社会課題の解決」と「持続可能な収益性の確保」を両立させる、CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）の視点を持った独創的なアイデアが不可欠といえます。

前述の観点を踏まえ、以下のA～Cから1つ選択し、その解決と収益確保を両立するビジネスアイデアを提示してください。このビジネスアイデアは、単なる無償のボランティアではなく「持続可能な収益事業」である必要があります。作成に当たっては、以下の3点を必ず含めてください。

1. ビジネスアイデアの概要
2. フィールド調査の結果と分析・考察
3. 論理的な一貫性を持った事業計画の説明

〈社会課題〉

A スマホ依存症

スマートフォンの普及により、SNS やゲームへの過度な没入が心身の健康を損なう「スマホ依存」が全世代で拡大している。例えば、スクリーンタイムの増加は、睡眠不足やコミュニケーション能力の低下を招き、現代特有の健康課題となっている。デジタルデバイスと健康的な距離を保ちつつ、利用者が自発的に「オフラインの時間」を楽しめるようなビジネスを提案してください。

B フードロス

外食チェーンやコンビニエンスストア等の中食産業において、消費期限切れや余剰在庫による「フードロス」は膨大な量に上っている。これらは廃棄コストを生むだけでなく、環境負荷の面でも大きな損失となっている。これまでの「寄付」や「安売り」の枠組みを超え、テクノロジーや仕組みの工夫によって食品の価値を最後まで最大化するようなビジネスを提案してください。

C オーバーツーリズム

外国人観光客の増加に伴い、その経済的効果が期待される一方で、オーバーツーリズムが発生し、さまざまな弊害も指摘されている。例えば、観光地の一部では、ホテルが満室となり、ビジネス目的の出張が難しくなっている。こうした課題を踏まえ、観光による収益を確保しつつネガティブな影響の低減を達成できるようなビジネスを提案してください。

〈注意事項〉

小論文の検討と作成において、以下の指示に従いなさい。

- ビジネスアイデアは、小論文の形式で作成すること。
- フィールド調査を必ず行い、その結果を示すこと。具体的な方法として、地域の住民や生徒、事業者、市区町村の役所や役場を対象にしたヒアリング調査を行う方法等がある。なお、ヒアリング調査を行った場合、個人情報の取り扱いには十分に注意すること。
- フィールド調査においては以下の点に留意すること。
 - ① 多数の地域住民を対象にしたアンケート調査は、住民の皆さんに負担をかけることになるので、今回の課題ではアンケート調査の実施は控える。少数の住民、生徒を対象にしたヒアリング調査の実施は許可する。ヒアリング調査は、対象者に調査目的を説明したうえで、事前に許可を得てから実施すること。
 - ② 特定の組織体や関係者に対して長時間のヒアリングを行い仕事を妨げることをないように、予め時間を約束し、約束した時間内でヒアリングを終了する。
 - ③ 訪問調査の日時と場所を、事前に保護者に伝えてから、調査に出かける。
 - ④ 許可なく、一般に開放されていない建造物や土地には立入らない。
 - ⑤ 数枚程度（合計で1ページ以内に収まる程度）であれば、撮影した写真を使用することを許可する。ただし、写真撮影の対象が人物の場合は、本人に撮影・使用許可を得ること。また、私有地（店舗内等）での撮影の場合は、管理者から撮影・使用許可を得ること。
 - ⑥ 悪天候時や夜間には調査を実施しない。日程に余裕をもって調査を計画する。
 - ⑦ 事故（特に交通事故や道迷い）に遭わないように注意を怠らない。また、屋外調査中は、熱中症等にならないように、水分補給や体調管理に注意する。なお、調査中の事故等の責任を本学が負うことはできない。
- 自分のアイデアに関連する信頼性の高い報告書、書籍、論文等を読むこと。
- 統計データに基づいた表や図（グラフ）を必ず1つ以上は使用すること。
- 参考にした文献は必ず明示すること。表記方法は後述する。参考文献を適切に活用し、適切に表記しているか否かも評価要素となる。
- 小論文のタイトルは、内容に即したものを自分で考えて付けること。

【小論文の執筆】

課題について小論文を執筆し、本学部が指定する期日までに提出しなさい。なお、第1次選考に合格した場合、第2次選考では小論文の内容を基にプレゼンテーションを実施するので、プレゼンテーションも念頭に置いて小論文を執筆すること。

小論文を執筆するに当たり、自分のビジネスアイデアについて、インターネットのみならず、書籍や論文を読んで、十分に調査を実施すること。第1次選考の小論文は、以下の要領に従って執筆し、本学部の出願締切日までにその他の出願書類と共に提出を行うこと（郵送必着）。

- 原則として以下で指定する様式に従い、ワープロソフトウェアを用いて執筆する。
- 使用するワープロソフトウェアは任意とするが、「Microsoft Word」を推奨する。

〈様式等〉

- 用紙のサイズは A4、横書きとする。各ページの余白は上下左右とも 30mm とする。
- 文字数は 2,500 字以上 3,000 字以内（引用文献一覧と図表を除く）とする。
- 各ページは 35 行の設定を基本とし、1 行につき 40 文字の設定とする。以上は、ワープロソフトウェアで設定がなされていればよい。印刷結果としての行数と一致しなくてもよい。
- 小論文のタイトルを 1 ページ目の 1 行目に中央揃えで記す。フォントはゴシック 14 ポイントとする。
- 受験者の氏名を、タイトルの次の行に右揃えで記す。フォントは明朝体 10.5 ポイントとする。その後、1 行空けて左揃えないしは両端揃えで本文を始める。
- 目次の記載は必要としないが、文章を章や節で分けして構成することを許可する。章や節の見出しのフォントはゴシック 10.5 ポイントとする。章や節の見出しの前は 1 行空けること。
- 本文のフォントは明朝体 10.5 ポイントを基本とする。
- ページ番号を各ページの下段(フッター)の中央に付す。表紙はページ数に含まれない。
- 各ページの左下の余白に、受験者の氏名を記すこと。フッター機能を使用するとよい。
- 原則として、文体は、常体（文末が「・・・である。」、「・・・だ。」）を用いて、敬体（文末が「・・・です。」、「・・・ます。」）は避けること。
- 字数はワープロソフトウェアの文字カウント機能で確認すること。

〈図表〉

- 図表を使う場合は、画像をそのまま貼り付けてはいけない。受験者本人が図表をワープロソフトウェアで作成するか、あるいは表計算ソフト等で作成したものを貼り付けるのはよい。
- 写真は図表として扱う。写真の場合は、画像をそのまま貼り付けてよい。
- 本文で必ず図表について言及すること。図表は言及する場所の近いところに配置すること。
- 図表の出典やデータ出所は、図表の下に付すこと。フォントは明朝体 9 ポイントとする。なお、受験者本人の調査結果に基づいて作成した図表等の場合は、「著者作成」と図表の下に付すこと。
- 図表の上には必ず題名を付すこと。図表が複数になる場合、題名の前に通し番号で図表番号を付す。図表番号と題名のフォントは、ゴシック体 10.5 ポイント、中央揃えとする。
- 図表部分（出典や題名も含む）の前後は 1 行ずつ空ける。

〈引用・参考文献〉

- インターネット、書籍、論文等に記載されている他人の調査結果や意見や提案を、あたかも自分のもののように記述することは、不正行為となるので、必ず本文中で適切な引用の手続きを行い、かつ参考文献一覧に記載すること。
- 参考文献一覧は、ページを改めて、最後に記述すること。参考文献一覧の後には何も記述しないこと。

〈参考文献一覧の記載例〉

- 書籍の場合・・・日大太郎（2021）『日本大学商学部』砧書店。
- 論文の場合・・・商学一郎（2021）「商学部の歴史」『日本大学』第5号，20-30 ページ。
- インターネットの場合・・・日本大学商学部（2025）「入学者選抜情報」<https://www.bus.nihon-u.ac.jp/nyushi/>，7月1日最終閲覧。
- 新聞の場合・・・日本新聞（2022）「商学部について」『日本新聞』8月12日朝刊，第1面。
- 公的機関の公表データの場合（インターネットで入手した場合にはインターネットの場合に準じること）・・・文部科学省（2022）「大学調査データ」。

【印刷・提出】

本要領に従い作成した小論文をA4用紙に片面印刷（両面印刷は不可）し、指定表紙を重ね、上部2カ所をホチキス留めしたものを本学部の出願締切日までにその他の出願書類と共に提出を行うこと（郵送必着）。印刷に当たっては、カラー印刷あるいはモノクロ印刷の選択は任意とする。

また、本学部の出願締切日までに、本学部教務課入試係（bus.nyushi.kakari@nihon-u.ac.jp）宛に小論文の電子ファイル（ワープロソフトウェアのファイルのみ、指定表紙は不要）を添付にて提出すること。メール標題「総合型選抜小論文提出」、メール本文「高等学校等名称__氏名」、ファイル名称「高等学校等名称__氏名」とすること（例：日本大学高等学校__日大太郎）。高等学校等名称と氏名の間には、全角のアンダーバーを入れること。

郵送で提出された小論文と電子ファイルの文章内容が異なる場合には、無効とする。

【選考の基本的な考え方】

日本大学商学部での学修を通じて日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」ことができる意欲、能力、知識等を有する者を小論文、プレゼンテーションを通じて選考し、入学を許可する。

「自主創造」については、下記のURLを参照すること。

https://www.nihon-u.ac.jp/education_strategy/charter/about/

【第2次選考】

小論文に基づき、本学部が指定する期日までに、プレゼンテーション用資料を作成し、本学部が指定する日時にプレゼンテーションを実施しなさい。

なお、プレゼンテーション用資料の提出締切日及び第2次選考の集合時間等については、第1次選考の通過者に対してのみ通知する。

【プレゼンテーションの概要】

プレゼンテーションは面接（対面）方式を予定している。プレゼンテーションソフトウェアは、「Microsoft PowerPoint」あるいは「Google スライド」に限定し、プレゼンテーション時間 10 分以内、質疑応答 10 分以内、合計 20 分以内を予定している。プレゼンテーションのファイルは期限までの事前提出が必要であり、提出後の変更は誤字脱字を含めて認められない。

【特記事項】

小論文の執筆、プレゼンテーション用資料の作成に当たり、教諭や保護者等の受験者本人以外の者（生成 AI も含む）が受験者に助言することは妨げないが、過度な助言を受けたと認められる場合、あるいは受験者本人以外の者が執筆、作成したと判断される場合には不合格とする。

生成 AI は必ずしも正しい情報を出力するわけではないので、その出力内容については、その根拠を確認すること。

なお、電子ファイルでの提出も求めており、引用に該当しない剽窃をしていないか、生成 AI による小論文の執筆、プレゼンテーション用資料の作成をしていないかを確認するので、十分に留意すること。

【その他】

その他不明な点は事前に問い合わせること。ただし、データや資料の入手方法、調査方法論、インターネットの活用方法等といった課題の解答内容に関連する質問には答えられない。

総合型選抜に関する問合せ先
日本大学商学部教務課入試係
TEL：03-3749-6735
Mail：bus.nyushi@nihon-u.ac.jp

令和9年度 日本大学商学部総合型選抜

小論文（事前課題） 指定表紙

印刷して小論文の表紙とし、ホッチキス止めして提出してください。

受験番号				志望 学科 (○で囲む)	商業学科 経営学科 会計学科	フリガナ 氏名	

受験番号欄は、大学で記入します。空欄にしてください。

選択した社会課題 (ABCのいずれかを○で囲む)	A	スマホ依存症
	B	フードロス
	C	オーバーツーリズム

小論文の タイトル	
--------------	--

字数 2,500字以上 3,000字以内		ページ数 (表紙を除く)	
----------------------------	--	-----------------	--

注：字数はワープロソフトウェアの文字カウント機能でご確認ください。

注：図表に含まれる文字（表題等含む）は除く。

大学記入欄（記入しないでください）

1	2	3

参考文献一覧

日大太郎(2021)『日本大学商学部』砧書店。

商学一郎(2021)「商学部の歴史」『日本大学』第5号, 20-30ページ。

日本大学商学部(2025)「入学者選抜情報」<https://www.bus.nihon-u.ac.jp/nyushi/>, 7月1日最終閲覧。